

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	地域課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	西区の魅力を、広く区内外に発信するとともに、区民とその魅力の共有を図ります。		SNSによる情報発信件数(件)	120	228	SNSを活用した魅力発信	西区の魅力やスポットをInstagram等で発信します。	○	Instagram:136件 Facebook:82件 (参考:X(旧Twitter):397件 ※能登半島地震時のリボスの件数が多かったため指標には算入していません。)	引き続き3つのSNSを活用し、西区の魅力を区内外に発信していきます。多くの方に興味を持ってもらえるように発信内容を工夫し、新規フォロワーの獲得に努めます。
2	区民が主役の活力あるまちを推進するため、地域と大学、学生の双方がお互いを受け入れるための土台づくりや連携の支援をします。	行財3-2-③	地域と大学の交流と連携の推進	大学、地域へのヒアリングを実施	大学、地域へのヒアリングを実施	大学との連携事業の実施	どのような連携が地域や大学側で求められているのかニーズを把握し、より連携が活発化するよう取り組みます。	○	新潟大学の社会連携推進機構や新潟大学の教授からヒアリングを実施 「Meetup!NiigataWEST2040」を開催し、学生と地域で活躍する人材との交流を図り、大学との共催イベントも実施	大学とのヒアリングの結果を踏まえ、大学から地域課題の解決や地域を活性化する事業提案を募集し、地域と大学の連携実績を積み上げるとともに、その水平展開を図ります。
3	区民の主體的な文化活動の充実と継続したスポーツの推進を図るため、地域や大学と連携し住民が親しみやすく参加しやすい事業を実施することで、西区の一体感の醸成を図ります。		参加者アンケートでの満足度(%)	85	95	・西区スポーツマイルプロジェクト ・西区スポーツ振興関連事業	区民の継続したスポーツ・運動の習慣化に向けたきっかけづくりを提供するとともに、多くの人からスポーツ・運動の楽しさや喜びを感じてもらい、夢や希望を育む支援に繋げ、区民の交流機会を創出します。	○	かけっこ教室やSUP体験教室など共に高い満足度となりました。	引き続き、スポーツ振興を通じて区民の生きがいや幸福を追求していきます。
4	湿地のさらなる保全の取り組みを推進するため、佐潟に関連する活動の支援等を通じて、環境保全意識の定着を図るとともに、魅力の発信と交流の促進を図ります。		佐潟水鳥・湿地センター自主事業及び佐潟ボランティア解説員による自然環境保全啓発活動(件)	36	36	・佐潟ボランティア解説員制度の運用 ・佐潟水鳥・湿地センターを拠点とした啓発活動の実施 ・各種イベントでのPR	佐潟の自然や動植物に関するテーマの事業を実施し、自然環境保全及び賢明な利用の普及啓発を促進します。	○	生き物観察会や佐潟写真展、植物観察会など年間を通じて予定通り開催することが出来ました。	引き続き、文化振興を通じて区民の生きがいや幸福を追求していきます。
5	地域における自治をさらに推進するため、区自治協議会の活動の活性化を図るとともに、コミュニティ協議会の事業支援を行います。	行財3-2-① 行財3-2-②	区自治協議会提案事業の実施支援件数(件)	5事業以上の支援	6事業を支援	・区自治協議会提案事業	地域課題の解決や地域活性化を図るため、区自治協議会が自ら事業を企画運営します。	○	環境美化活動、支え合いの大切さ普及事業、魅力の発信、広報誌の発行、アートフェスティバル、地域防災力の向上の実施を支援	引き続き、区自治協議会が自ら事業を企画運営することで、地域課題の解決と、地域で主体的に活動できる人材を育成します。
			地域コミュニティ協議会の運営支援団体数	運営支援15団体	運営支援15団体	地域コミュニティ協議会の運営支援	地域コミュニティ協議会が活発な活動を展開できるよう、事務的な経費や事務所借上経費の一部を補助するなどの運営支援を行います。	○	地域コミュニティ協議会運営補助金の交付15団体 まちづくりセンターの設置状況11件	引き続き、地域コミュニティ協議会が活発な活動を展開できるよう、事務的な経費や事務所借上経費の一部を補助するなどの運営支援を行います。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に参加した経験のある市民の割合</li> <li>・将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合</li> <li>・1人1日当たりごみ総排出量</li> <li>・仕事に対する職員満足度</li> <li>・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・うち区役所が進めた取組数)</li> </ul>	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区役所	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	西区の環境美化を推進するため、各種団体等への活動支援・協力や幅広い世代への環境美化意識の啓発を図ります。		ボランティア清掃等の参加団体数(のべ数)	530団体以上	619団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区クリーン月間や海岸一斉清掃への協力・支援</li> <li>・自治会・町内会、民間団体が実施するボランティア清掃活動への支援</li> </ul>	各種団体等が実施するボランティア清掃活動で使用する備品等の提供や貸出、ごみの回収による支援を行います。	○	ボランティア清掃を行う団体に補助金・ごみの回収について丁寧に説明を行いました。西区は、新潟市内でボランティア清掃件数が一番多くなっています。	ボランティア清掃に取り組む団体に継続して支援していきます。
2			「子どもエコ教室」アンケート満足度(%)	満足度90%以上	アンケート満足度 92.7%	・子どもエコ教室	「子どもエコ教室」を通して保護者と一緒に学ぶ機会に触れることで、幅広い世代の環境美化意識の向上と啓発に繋がります。	○	「親子でワークショップ」と題し募集したところ、定員以上の申し込みとなりました。能登半島地震にみまわれた西区の子どもたちを元気づけるため、申し込みいただいたすべての親子に参加していただき、アンケートの結果も大変好評でした。	今後も新しい手法を取り入れながら、未来を担う子どもたちや幅広い世代の環境美化意識の向上と啓発を図ります。
3	自己啓発研修や業務に関する研修の積極的な受講を推進し、職員の窓口対応能力の向上を図ります。	行財1-1-①	職員1人あたりの年間研修受講回数(回)	6回以上	6.2回	・各種研修の受講や職場内研修の開催	自己啓発や業務に関する知識の習得に向けた各種研修の積極的な受講を促進します。課内の内部研修を開催します。	○	西区フィールド・イノベーション(窓口改善チーム)と西区総務課と共催で相続についての講義や心身をリラックスさせるセルフケア研修を開催し、多くの職員に参加してもらいました。	日々の窓口業務に多忙を極めています。より市民に寄り添った窓口対応を行うため各種研修の積極的な受講を促し、引き続き職場内研修を開催します。
4	窓口改善活動に取り組み、市民サービスの向上と働きやすい職場環境の整備を進めます。	行財1-2-①	窓口アンケートの平均点(点)【5点満点】	4以上を80%	4以上が89.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区フィールドイノベーションメンバーを中心に、窓口改善と職場環境の整備に取り組みます。</li> <li>・窓口アンケートの実施</li> </ul>	西区役所の窓口職場職員で構成する検討チーム(西区FI)を中心に、窓口改善と職場環境の整備に取り組みます。アンケートにより、取組の成果や課題を分析・評価し、改善活動の有効性・実効性を高めていきます。	○	職員の説明のわかりやすさや接客態度は4.69と高い評価になり、今年度はすべての項目で目標点以上でした。	引き続きこの水準を保てるよう職場環境を整え、丁寧に丁寧で明るい対応を行います。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画における政策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合</li> <li>・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)</li> <li>・自分が健康だと思う市民の割合</li> <li>・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合</li> </ul>	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課		評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域の中で人と人のつながりを大切にし、誰もが健康に生活できるまちを目指します。		健康相談及び健康教室への参加率(%)	11.00%	12.61%	健康的な生活習慣の継続を啓発する健康相談及び健康教育	健康寿命の延伸のため、生活習慣病の発症・重症化を予防する食生活や運動習慣が継続できるよう、生活習慣病のハイリスク者へ案内を行い、健康相談及び健康教育を行います。	○	ハイリスク者対象の健康相談会や食事・運動セミナーを131回実施し、特定健診の結果からみえる健康課題をもとに、生活習慣改善の目標設定と行動変容の支援を行いました。	健康寿命の延伸を目指し、引き続き各種事業を実施します。
2			簡易検査および予防セミナー実施数(人)	300人	183人	西区認知症オレンジプロジェクト	認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、広く区民に認知症への理解を深めるため、認知症の簡易検査と予防セミナーを開催します。	×	事業を通して認知症予防や早期発見・早期受診の大切さについて理解を深めていただきました。より多くの方に参加していただき認知症の理解が広がるよう周知を強化します。(検査93人、セミナー90人)	超高齢化が進む中、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる地域の実現のため、認知症の簡易検査、予防セミナーを継続します。
3	子どもたちの健やかな育みを応援する、やさしいまちを目指します。		累計登録者数(人) [参考] R4末 5,749人	増加	増加	LINEによる子育て応援情報配信事業	出産・育児の不安を軽減し、育児の孤立を防ぐため、SNSの活用により、効果的で分かりやすい子育て情報の発信を行います。	○	累計登録者数はR5末時点で6,635人で目標を達成しました。(昨年度末比:886人増)	今後も出産育児の不安を軽減し、育児の孤立化を防ぐため、SNSの活用により効果的でわかりやすい子育ての情報発信を行います。
4	全ての職員が、子育てに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備を進めます。	行財-1-4-②	男性の育休の取得率(%)	特定事業主行動計画目標値	対象者ゼロ	子の出生予定日連絡票の運用	男性職員に子が生まれる際に、育児休業を取得しない場合に理由の記載が必要な「子の出生予定日連絡票」を提出してもらうことで、男性の育児休業の取得に対する意識の醸成を図ります。	○	子が生まれる男性職員がいなかったが、育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組みました。	引き続き妊娠、出産、子育てをしやすい職場環境の整備に努めていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	西地域保健福祉センター	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域の中で人と人のつながりを大切に、誰もが健康に生活できるまちを目指します。		利用勧奨電話の実施人数(人)	対象者の全て	対象者の全て(37)	特定保健指導の利用勧奨	特定保健指導の実施率を高めるため、電話による利用勧奨を行います。健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	○	対象者37人全員に対し、利用勧奨電話を実施し、利用につながったのは1人でした。利用につながらない人でも、健診結果について電話で指導できました。	R4年度、5年度と2年間、電話での利用勧奨を行いました。利用につながる人が少なかったです。次年度は、電話勧奨に加え、家庭訪問による特定保健指導を行い、実施率の向上に努めます。
2	子どもたちの健やかな育みを応援する、やさしいまちを目指します。		検討事例(数)	対象者の全て	対象者の全て(186)	特定妊婦の支援検討とモニタリング	特定妊婦等への支援を確実に行うことにより、出産・育児の不安を軽減し、育児の孤立化を防ぎ、地域で安心して子育てができるよう支援します。	○	毎月のセンター会議で、要支援妊婦の新規ケース検討を70件行いました。さらに、全ケースについてモニタリングを延186件実施しました。	R5年度から、こども支援担当相談員も毎月検討に入っても、よりタイムリーな支援ができるようになったので、今後も毎月の検討、モニタリングを継続していきます。
3	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備を進めます。	行財-1-4-②	年次有給休暇の取得日数(日)	14.0日	19.7日	年次有給休暇の計画的取得	年間の月別計画表に、年休取得予定を記入し、計画的に休暇を取得できるようにします。	○	職員全員が目標の14.0日以上年次有給休暇を取得しました。	今後も、年間の月別計画表に、年休取得予定を記入し、計画的に休暇を取得できるように努めます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	黒埼地域保健福祉センター	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域の中で人と人のつながりを大切に、誰もが健康に生活できるまちを目指します。		健康相談及び健康教育の依頼団体数	10以上	地域の茶の間 14団体	健康的な生活習慣の継続を啓発する健康相談及び健康教育	健康寿命の延伸のため、生活習慣病の発症・重症化を予防する食生活や運動習慣が継続できるよう、地域団体等との協働により、健康相談及び健康教育を行います。	○	前年度から継続の団体に加えてコロナ禍で活動を縮小していた団体へも声を掛け、健康相談2団体、健康教育4団体を新規で実施することができた。	新規団体へも声掛けにより健康相談及び健康教育実施を促していく。
2	子どもたちの健やかな育みを応援する、やさしいまちを目指します。		会議・研修会・交流会等で連携した関係機関施設数	20以上	24か所	妊娠子育てほっとステーション連携強化事業	子育て支援に係る地域の関係機関や妊娠子育てほっとステーションと協働し、連携会議・合同研修会・子育て支援者交流会等を開催します。	○	子育て支援者交流会では24か所の関係機関に案内送付しアンケートの記入など状況の共有を行った。	次年度も継続
3	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備を進めます。	行財1-4-②	年次有給休暇の取得日数(日)	14.0日	15.8日	年次有給休暇の計画的取得	年間の月別計画表に、年休取得予定を記入し、計画的に休暇を取得できるようにします。	○	年間の予定表を職員で共有し、声掛けや業務調整なども積極的に行い、計画的な年休取得に努めた。	職員の心身の健康管理の為に有意義な年休取得を継続して促していく。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標		作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区役所	組織名 (準部・課・機関名)	保護課			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯、困窮者世帯の児童・生徒へ学習支援を行います。		子ども学習会の参加登録者数	30人	42人	子ども学習会(毎週土曜日・日曜日) 家庭支援の実施	有償塾等に通うことができない子どもとその親に対して学習会参加を呼びかけ、学習習慣の定着、その後の高校進学へとつなげ、貧困の連鎖防止に努めます。	○	生活保護世帯に対しては、学習支援員も含め積極的に世帯に働きかけ、困窮者世帯に対しては定期的に広報することでの周知を図りました。	子の貧困の連鎖防止及び居場所づくりにおいては、欠かすことができない事業ですので、継続的に周知を図りながら実施していきます。
2	すべての稼働年齢層(15歳～64歳)の被保護者の稼働能力を検討し、求職指導対象者への就労支援を行います。	政策6-3-①	就労支援事業利用者数	120人	127人	生活保護受給者等就労自立促進事業への参加勧奨 就労準備支援事業への参加勧奨	ケースワーカーと就労支援員及びハロワーク職員とで協働し、稼働能力の可否及び能力を判断し、個々に沿った就労支援を行います。	○	担当での対象者の掘り起こしから、就労支援員との協働により、稼働能力を見極め、支援事業利用につなげました。	生活保護の適性実施における重要な事業であり、専門的知識を持った支援員及びハロワークと引き続き連携をとりながら実施していきます。
3	適正な生活保護制度の実施のため、保護業務の基本となる訪問調査活動について、計画に基づいた訪問を行います。		訪問計画に基づいた訪問実施回数の割合	87.60%	90.20%	訪問計画に基づいた訪問活動の実施 長期未訪問世帯の解消	毎月、訪問実績を係長が進行管理を行い、訪問ができない世帯には組織的に対応して問題解消を図り、訪問実施率を高めていきます。	○	訪問実施状況を係長及び幹部職員の随時把握できるように透明化し、計画に基づいた訪問実施に努めました。	家庭の実態把握は、世帯の支援の土台となるものであることから、実施困難な世帯などがあれば組織的に対応して実施につなげていきます。
4	生活保護や他法他政策、他の関係機関業務の知識を習得することで、より適正で円滑な生活保護制度の実施に努めます。	行財1-4-①	他法他政策等、実施される研修への参加回数	職員1人あたり1回以上	全員が1回以上の研修を受講	職員の各種研修参加	研修案内があった際に、速やかに職員周知し、積極的な参加を促し、職員の能力向上に取り組みます。	○	生活保護業務における他の関連制度の知識等の必要性を理解し、業務と調整しながら積極的に研修に参加しました。	生活保護制度のみならず、他の関連制度などを理解することにより、ケースワーカーの能力向上、速やかな支援につなげていきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市の農水産物などに対してほこりや愛着を持つ市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	農政商工課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区特産農産物のさらなる認知度向上のため、農商工連携による県内外へのPRを実施し、一層の販路と消費の拡大、高付加価値化とブランディングを進め、生産振興と地域の活性化につなげます。		Twitter(枝豆)とInstagram(枝豆・いもジェンヌ)のフォロワー数(人)	20,000	25,411	・西区のおいしい農産物魅力発信事業	西区特産農産物の知名度向上と、販路や消費の拡大、ブランディング確立のため、その魅力を県内外にPR・情報発信します。	○	西区特産農産物の知名度向上の取組のため県内外にPR・情報発信した結果、フォロワー数の目標を上回ることができた。	民間企業との連携を強化し、より効果的なPRに取り組んでいきます。
2	生産者と消費者が触れ合う、農業を学ぶ場・体験の機会を提供し、農業への理解と地域への誇りや愛着を育む取り組みを進めます。	行財3-2-②	親子収穫体験の参加組数(組)	180	317	・西区の魅力を体感！まち歩きと収穫体験	都市部住民の「農業」への理解と知識を深めるため、親子向け収穫体験事業を実施します。	○	生産者と消費者の触れ合い機会を企画した結果、目標を上回り、参加者の満足度も期待以上であった。	農業を学ぶ場や体験の機会を増やすため、収穫体験事業の実施品目数を増やします。
			参加者アンケートでの満足度(%)	80	96					
3	区内の魅力ある自然景観や史跡などを活用し、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図るとともに、まち歩きボランティアガイドの養成に取り組みます。	行財3-2-②	区主催のまち歩き参加者数(人)	180	172	・西区の魅力を体感！まち歩きと収穫体験	地域団体やボランティアガイド団体と連携し、赤塚地域・佐潟周辺「北国街道」沿いや黒埼・内野地域にある観光資源を生かしたまち歩きを実施し、地域に根差した歴史や文化などの魅力を発信します。	△	ボランティアガイド等と連携し、西区内の観光資源を生かしたまち歩きを実施した結果、参加者目標を概ね達成した。また、参加者の満足度も期待以上であった。	引き続き、ボランティアガイドと連携し、西区内の観光資源を生かしたまち歩きを実施します。
			参加者アンケートでの満足度(%)	80	92					
4	西区の農業を振興するため、女性農業者を対象としたスキルアップやネットワーク化を図り、多様な担い手の確保・育成を進めます。		ワークショップ企画の事業展開数	1	1	・西区サステナブル農業支援事業	多様な担い手の確保に向け、女性農業者を対象としたスキルアップやネットワーク化に向けた企画を開催し、女性が農業に従事する上での課題解決につなげます。	○	にいがた2kmマルシェへの出店企画は、農産物の高温湯水の影響により、出店を取りやめたが、ワークショップを通じて、新規企画を検討した。	多様な担い手の確保のため、引き続き情勢農業者の主体的な取り組みを支援していきます。
5	意欲ある多様な担い手の確保・育成に向け、新規就農希望者への支援体制を整備するとともに、女性の活躍を推進し、多様な担い手の確保・育成を進め、持続可能な農業を目指します。		新規就農に関する相談件数	10	13	・にいがたagribase事業 ・新潟西部地域担い手対策協議会	西区の農業の持続的発展に向け、意欲的な担い手を確保・育成するため、新規就農者の研修機会や経営の早期安定化に向けた初期投資への支援を行います。	○	新規就農者の確保を図るため、就農イベントや地域担い手協議会と連携し13件の相談やフォローを行った。そのうち、認定新規就農に至った案件は1件(新規就農者数14件)で	引き続き、就農イベントや地域担い手協議会と連携し、就農希望者の相談やフォローを行っていきます。
			認定新規就農者数	1	1					



# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関名)	総務課			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	実際の避難所運営と避難所生活を体験できる機会を設け、地域主体の避難所運営の推進に取り組みます。		地域主体の避難所運営の充実への取り組み	実施	実施	地域向けの避難所運営体験会の開催	避難所運営委員会を設立済みで、実際の避難所運営に関わる地域の方々を対象に開催します。	○	予定通り実施し、避難所の運営活動を地域住民とともに体験することで課題などの共有を図ることができました。	地域で自主的な避難所運営ができるよう避難所運営委員会の設立や活動の支援に引き続き取り組んでいきます。
2	高度化・複雑多様化する行政課題を区民の視点で考え、解決できる職員養成に取り組みます。	行財1-4-①	研修受講者のアンケートで自身の成長につながったと回答した割合	90%以上	97.4%	新規・異動職員研修 人権研修 接遇研修 など	高度化・複雑多様化する行政課題を解決することができる職員を養成するため、様々なテーマ構成で研修を実施します。	○	区内各所属に働きかけ協同で研修を実施することで職員に西区を深く知る機会や行政課題に向き合う機会を提供し受講者からは概ね好評を得ることができました。	引き続き幅広く情報収集を図り受講者する職員が自身の成長を感じられる研修の企画に取り組んでいきます。
3	IoT技術を活用し、地域全体で子どもたちを見守る体制を構築します。	行財3-2-③	見守り端末を配布した小学校数	9	11	IoT技術を活用した登下校子ども見守り事業	子どもの位置情報を記録する見守り端末を西区内の児童に配布します。  ※官民連携事業(連携先:東北電力フロンティア(株)/ (株)otta)	○	小学校・地域の協力と事業者との連携により、予定以上の小学校で事業を開始することができました。	区内全小学校での実施に向け未実施校(8校)で準備を進めていきます。
4	緊急性の高い災害情報の伝達力強化のための方法を検討します		音声情報の一斉送信サービスを活用した伝達力強化のための方法を検討	検討	実施	西区土砂災害情報一斉電話業務	緊急性の高い災害情報の伝達力強化のため、土砂災害情報の伝達方法(一斉電話)の活用など新たな対応策を検討します	○	土砂災害警戒地域の希望者に対し、一斉電話による情報伝達の体制を構築することができました。	情報伝達体制の継続に向けて、引き続き周知などに取り組めます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区	組織名 (準部・課・機関 名)	西出張所			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	西地区の4コミュニティ協議会の活動を支援し、地域との連携を深めます。	行財3-2-②	・西地区4コミュニティ協議会の意見交換会を開催します	2	2	・西地区コミ協連合会主催で意見交換会を開催	西地区の4つのコミュニティ協議会の連合会の活動を支援します。各コミュニティ協議会の課題を持ち寄り共有し連携・相互理解を深めてもらいます。	○	西地区のコミュニティ協議会連合会として西区役所・西警察署などに要望している	この活動をきっかけにして4つのコミュニティ協議会が一つにまとまり内野町以西を盛り上げる
2	「親切・丁寧・正確・迅速・適切」な窓口対応で、市民の信頼と期待に応えます。	行財1-1-①	・窓口アンケートを実施して住民提案を実現します	1	1	・窓口アンケートの実施(年1回)	窓口アンケートを実施し、来庁者の窓口対応の満足度を把握して業務改善につなげます。	○	窓口を健康福祉センターに拡大した。市民満足度は高く(5点満点で4.82)、市民本位・中心が伝わった	連絡所の窓口にも拡大し市民の意見を聞きながら、窓口の改善を図る(例えば、音楽や花で市民の待ち時間の感情を和らげる)
3	市民の視点で考え、解決することができる職員を育成することで、窓口対応能力や資質の向上を図ります。	行財1-4-①	・各種業務研修を受講します(1人5回以上×職員12名)	60回	61回	・各種業務研修の受講 ・資質向上を図るための研修等への参加	時間を調整して積極的に各種業務研修に参加します。	○	受講後、伝達研修を増やすことで所内全体の資質を向上させた	本庁、区役所、出張所、連絡所の役割分担を定め、窓口にあった資質向上を図る

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	黒崎出張所	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西区					評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	丁寧で正確なサービスを迅速に提供するため、職員の業務習熟度を高めます。	行財1-1-①	グループ内研修の実施回数	8	9	グループ内研修	職員が講師となり、グループ内で業務研修を行うことで、グループ全体の業務習熟度を高めます。	○	主に研修参加後にグループ内で伝達研修を実施し、新たな知識の習得や情報の共有を図ることにより、業務習熟度を高めました。	引き続き研修への参加やグループ内での研修を実施することでさらに業務習熟度を高めます。
2	信頼される出張所を目指し、職員の資質向上に取り組めます。	行財1-1-①	伝達研修の実施回数	8	15	伝達研修	研修を受講し、自身のスキルアップを図るとともに、習得した知識を職場内へフィードバックすることにより全職員の資質向上につなげます。	○	目標を大きく上回る研修を受講し、習得した知識などを所内にフィードバックすることにより、職員の意識に変化がみられ、資質の向上につなげることができました。	研修受講後の伝達研修のほか、職員の資質向上につながる取り組みを実施します。
3	業務や施設等に係る改善を実施し、市民からより親しまれる出張所づくりに取り組めます。	行財1-2-①	改善実施件数	3	8	改善提案及び実施	職員ひとりひとりが常に改善の視点を持ち、担当業務を超えた改善提案を行える職場風土をつくることで、職場環境の改善を行います。	○	所内の案内表示や業務の進め方など職員が様々な視点から提案を行い、改善を実施しました。	職員ひとりひとりが改善の意識をもち、来庁する市民の方にやさしい出張所づくりに取り組めます。